

学
科
長
よ
り

教育心理学科長 鈴木 国威

私たちは日常が平穏だと確信していますが、その平穏な日常が実は非常に脆いものであり、その安定が様々な要因に依存していることに気づくのは難しいでしょう。しかし、最近まで警戒されていた新型コロナウイルスがもたらした状況が、私たちの健康や行動の自由が平穏な日常を支えていることを改めて認識させられました。平穏さは脆さゆえに、常に揺れ動いているものだと感じました。こう考えると、現在の平穏さは、その脆さと破壊の要因を常に内包していると思われます。コロナはまだ収束せず、変異を繰り返し、依然として影響を与えていますが、それにもかかわらず、個人の責任へと公の援助は縮小及び消滅に向かっていきます。また、生活に関連する政治の中で、私たちの感覚とはかけ離れた倫理が蔓延し、静かに生活の背景を破壊しているように感じます。このような時代において、他者による決定に注意を向ける必要があります。さもなければ、平穏は容易に破壊されることに気づいていただければと思います。

入学式 1年 島田 藍

4月1日(土)、入学式は学部、学科ごとに分かれて挙行されました。式前日は、期待と不安でドキドキしてあまり眠ることができませんでした。式では初めて会う人が多く、とても緊張しました。さらに、先生方のお話を聞く中で将来の自分はどうなっているのかなと期待に胸を膨らませました。コロナの制限も緩和され、さらに、自由な時間が増えると思います。その中でも大学生としての自覚を持ち、充実した大学生活を送りたいと思います。

これから教育心理学科で過ごす4年間を充実させていくため、仲間たちと切磋琢磨していきたいです。4年間どうぞよろしくお願いいたします。



新任教員紹介 by 学生インタビュー

講師 内田 直義 先生 専門：比較教育学

インタビュー：
1年 三好くるみ・三好彩華

内田先生は、これまでアラブ・中東地域の教育について研究されてきました。メインの研究対象としては、エジプトにあるイスラームの宗教学の最高学府アズハルです。外国の教育を研究していると、世界には多様な学びの可能性があることに気づいたと同時に、一見遠くにあるような彼／彼女らの学びの風景の中にも、実は、私たちと共通する教育への期待と悩みがあることがわかったと述べられておりました。内田先生の授業では、日本の教育を目指すわたしたちにとって実践的な力となる内容を学ぶことを軸としながら、教育制度やカリキュラムを国際比較する機会も取り入れ、日本の教育を相対比してみる視点を大切にしていこうと考えられているそうです。



先生からの一言

2023年4月に着任した内田直義と申します。教職関係の授業を主に担当しています。兵庫県養父市出身のA型、1990年8月生まれ。学生時代はほぼ帰宅部でしたが、最近自宅近くのジムに通いはじめました。みなさんは、何か最近はじめたことはありますか？

研修旅行 (4月)

1年 後藤柚月

私たち、教育心理学科1年生は研修旅行で神戸に行ってきました。1日目、神戸に着いてから、まず神戸布引ハーブ園に行きました。ロープウェイで山頂まで登り、良い景色の中、皆で食べたいちご味のソフトクリームがとても美味しかったです。ホテルでは、豪華景品を賭けたビンゴ大会が行われて、皆熱中して良い思い出になりました。そして2日目は、班ごとに自由行動をしました。私たちの班はハーバリウム作りを体験したり、プラトン装飾美術館に行ってきたり、写真を撮ったりしました。研修旅行を通して色々な同級生たちと話すことができ、親しくなれたのでとても充実した時間を過ごせました。



新入生歓迎懇親会 (5月)

1年 濱名明伽音

5月26日にSEP主催の新入生歓迎会が開催されました。SEPの先輩方がまとめ役となって歓迎会を進めて下さり、猛獣狩りゲームでは、友達やクラスなどに関係なく色々な人と関わることが出来たと思います。また、ビンゴゲームでは、皆で大いに盛り上がりながら豪華な商品を獲得していき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

入学したばかりでなかなか顔馴染みの子も少ない中でしたが、この歓迎会を通じてたくさんの人と関わることができ、充実した時間を過ごすことができました。



学生活動紹介

オープンキャンパスレポート 1年 大森生夏



私たちはオープンキャンパスの取材に行ってきました。オープンキャンパスでは、学科ガイダンス、ミニ講義、質問コーナーや施設見学、体験型ワークショップを行っています。8月19日開催のミニ講義は本学科石原みちる先生による「スクールカウンセラーと養護教諭～心理職の多職種連携～」というテーマでした。内容は、チーム学校として、スクールカウンセラーと養護教諭の連携の重要性を、架空事例を基に具体的な声掛けや対応を考えました。選択肢の中から、状況にあった支援の方法を周りの人と相談しながら考察する様子が見えました。

ガイダンスとミニ講義後は、「就実心理臨床センター見学」が開催されました。大学院生が施設を案内し、箱庭療法で使用される専門的な道具や充実した設備を見学していました。また、事前に用紙を配って、学校生活や勉強についての質問を募集しました。教育心理学科在校生が丁寧に回答していて、すぐにリアルな声をお届けしたことで、高校生の不安や悩みが解決出来たことが印象的でした。



なでしこ祭

2023なでしこ祭 ～新風～ 2年 秋岡奈帆・長谷川美優



教育心理学科では、2年生を中心になでしこ祭で熱中症ラボを行いました。熱中症ラボでは、紫外線で色が変わるビーズでのブレスレット作りや、熱中症予防になるドリンクの提供、熱中症についてのクイズコーナーを用意しました。熱中症についてのクイズコーナーでは、日頃から行える熱中症対策や緊急時に必要な知識を、簡単な選択形式のクイズにしました。正解するとご褒美に飴がもらえるシステムで、貰える飴も熱中症対策になる塩飴やタブレットを用意しました。クイズの前に輪投げか割り箸射的のどちらかのゲームが出来るようにしたり、ご褒美の飴を5秒間の掴み取りにしたりするなど、子どもが楽しくて熱中症対策に興味を持てるような工夫を取り入れました。熱中症ラボを通して、熱中症の怖さをみんなで再確認することができて良かったです。これからも熱中症の予防や対処法について発信していきたいです。

運動会 2年 井上知花音

12月6日に運動会が開催されました。SEPの2年生の企画により、大縄、2人3脚、借り人競争、だるまさんがころんだを行いました。どのチームも優勝を目指し、力を合わせ全力で競技に取り組みました。チームのメンバーへの応援や大きな歓声が聞こえ、楽しんで競技を行う様子が見られました。体を動かすことで会話も弾み、大いに盛り上がりました。他学年との交流のきっかけにもなり、運動会を通して、教育心理学科の親睦が深められました。



ボランティア活動 2年 西崎夢生

私は、一年生の8月からスウィングという事務所のもとで、小学五年生から高校三年生までの子どもたちに「学習支援」を行う有償のボランティア活動に参加しています。始めたきっかけは、学科のメールに募集が届いた事でした。将来、子どもと関わる職業に就きたいという思いがあり、ボランティア活動を通して子どもとの関わりについて学びたいと考え参加しました。初めは、どのように話しかければよいのか、どうしたら心を開いてもらえるのかについて悩むことも沢山ありました。ですが、勇気を出して声をかけてみると笑顔で反応してくれたり、学校や家族のことを少しずつ話してくれたりするようになり、日々学びと達成感を感じています。私自身、人見知りな性格で自ら話しかけるのはあまり得意では無いですが、子どもたちのおかげで一歩踏み出す勇気を貰い、自分自身が成長できたように思います。このボランティア活動で得た学びや自分自身の成長と共にこれからも将来に向けて頑張っていきたいです。



授業紹介

教職論 (内田先生) 1年 井原菜月



『教職論』は、養護教諭一種免許状の取得に向けた専門課程であり、将来教員として働くために、基本的に知っておくべき教職の役割や資質能力、職務内容等について学ぶことができる講義形式の授業です。座学という先生話を聞くだけのつまらないものというイメージが強い人もいたかもしれませんが、この授業では答えのない問題についてワークシートを用いた思考力を高める時間や、周りの人達と話し合う時間が取られており、私自身も他の人の意見を取り入れながら自分の考えを深めることができました。さらに先生が国際比較教育を専門としている事もあり、最後の授業では田舎の中国の教育を題材とした映画を見ながら、日本の現在の教育と比較しつつ共通点や相違点について考え自分たちが受けてきた教育を振り返る機会も持てました。私は養護教諭を目指しているわけではないのですが、今回この講義を受けて教育という道も面白そうだと感じる事ができました。



カウンセリング演習 I (林先生) 2年 美藤春菜

『カウンセリング演習 I』は、『カウンセリング概論』という授業で学んだ内容を活用し、カウンセリングを行う上で必要な傾聴技術を身につける事を目的とした授業です。主な授業形態は、二人一組でのカウンセリングの実践です。授業回ごとに決められた技法に沿って実践していくため、様々な傾聴技法を習得する事が出来ます。また、話を聴く時に大切な姿勢を習得したり、自分自身が得意とするカウンセリングの手法を見つける手掛かりになったりするため、対人援助職に就きたいと考えている方に最適な授業だと思います。



教員の研究紹介 by 学生インタビュー

助教 堀田 裕司 先生 2年 矢野 雅・1年 永幡真奈

堀田先生は「職場の人間関係の改善やソーシャルサポートの向上に着目した職業性ストレスの軽減」をテーマに研究をされています。研究を始められたきっかけは、堀田先生自身がかつて一般企業に勤務されていたご経験があり、働くなかで職場の人間関係やストレスについて関心を持たれたことだそうです。最近では、職場での思いやり行動に関する実践マニュアルの作成や、企業との共同研究で「支え合う職場づくり」のためのアプリを開発されるなど、研究を実用的なものに結びつける取り組みをされています。このような研究活動を通して堀田先生は、「様々な職場で働く人たちの生の声を聞く機会にも恵まれ、とても有意義な時間でした」と仰っていました。

今後は、実際に働く人たちにインタビュー調査を行い、質的なデータも含めた研究を実施していきたいそうです。就実大学のホームページに記載されているリレーエッセイ「心理学とわたし」に堀田先生の記事も掲載されていますので、皆さんも是非読んでみてください。



先生からの一言

学生時代から人と助け合うことを実践しておけば、その経験は社会に出てからも生きてきます。自分自身で困難に向き合い、乗り越えていくことも大切ですが、人と助け合うことについても意識して取り組んでいきましょう。

実習大特集

看護学臨床実習・養護実習

心理実習

養護実習

3年 溝手咲来

私は、9月4日から29日までの4週間、母校の小学校で養護実習をさせていただきました。実習では、保健室来室者への対応や救急処置、保健教育、掲示物作成等様々な活動を体験させていただきました。保健室では、観察や実践をする中で、なぜその判断・対応をするのかという根拠のために知識が重要であることを学びました。また、教室での時間も多く過ごさせていただき、積極的に児童と関わって、保健室からでは分からない教室での様子や時間をかけて信頼関係を築くことの大切さを学びました。

大学の講義だけでは経験できない、授業や声掛けで実際に児童から反応が返ってくる機会はとても貴重であり、学校という場で養護教諭として働きたいという想いが強くなりました。この実習で学んだことを活かして、まずは教員採用試験に向けてより一層努力していきたいと思えます。

看護実習

4年 渡邊彩月

コロナ禍のため大学内での実習となりました。残念ながら病院での実習はできませんでしたが、感染管理特定看護師、特別支援学校で勤務経験のある養護教諭の先生からのお話は、新たな発見も多く、改めてこれからも学び続けていきたいと思うきっかけになりました。

また、看護技術の実習は、胃ろうや吸引などの生命維持や血糖値の管理に関わる内容や技術を学びました。実習を通して、養護教諭は子どもの命と向き合う責任ある職であることを再確認したとともに、子どもの気持ちに寄り添い、安心感を与えることができる養護教諭になりたいと強く思いました。貴重な機会を与えてくださった先生方、お忙しい中、講話をしてくださった方々に深く感謝致します。

心理実習

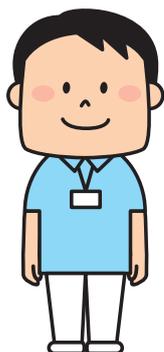
3年 佐藤実希

心理実習では、就実心理教育相談室、岡山県中央児童相談所、岡山EAPカウンセリングルーム、淳風会メンタルサポートセンター、岡山県少年鑑別所など様々な領域の施設を見学し、講義、心理検査、相談対応の体験等をさせていただきました。各領域で働く心理職の役割や法的義務を理解し、今までの学びが実際の現場でどのように活かされているかを知ることが出来ました。

様々な領域の心理職の方に直接お話を聞き、質問を行うことで、普段の講義だけでは得られない実践的な知識を知ることができ、自身の課題を見つけることに繋がったと思います。今回の心理実習で得た貴重な学びを活かし、今後も心理職になるための努力を続けていきたいです。

●学科の実習スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
養護教諭 一種免許状	3年次						養護実習 (4W)						
	4年次	看護臨床実習 (2W) ※2022年12月から2023年12月にかけて分割して実施											
公認心理師	3年次			心理実習 I					心理実習 II				
	4年次												



養護実習報告会



2年 川本真緒

11月22日に養護実習報告会がありました。今年は対面での開催だったため、先輩方に直接質問したり、お話を聞いたりすることが出来ました。養護実習報告会では、先輩方が実習で作成された掲示物や保健指導で使用した資料を実際に見せていただきました。どの掲示物や資料も、指導内容を理解してもらいやすいように工夫がされたものばかりで驚きました。また、指導方法や授業の工夫など、来年の実習で参考になるお話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。養護実習報告会に参加して、実習に臨む意識や養護教諭になりたいという思いが更になり強くなりました。先輩方からのアドバイスを活かして、養護実習をより充実したものに出来るように頑張りたいと思います。



心理実習報告会

2年 佐倉歩華

9月20日に心理実習報告会が開催されました。心理実習では公認心理師を目指す先輩方が、福祉分野や産業分野などの様々な施設で、心理職の方たちが実際にどのように働いているかを見学したり、実際に心理職の方にお話を聞いたりして、心理職の専門性について学ばれたそうです。先輩方の報告を聞く中で、自分の中の心理職のイメージが少し具体的になるとともに、不安な面もありますが心理士になりたいという思いがより一層強くなりました。



教員採用試験体験報告会が開催されました



キャリア・就心会共催講演会 (12月)

2年 藤井里帆

キャリア講演会では3人の卒業生の方が来てくださり、就職活動、大学卒業後の仕事を通して実際に体験したことをお話してくださいました。御三方とも、選択肢を絞らないでたくさんの経験をしたり、たくさんの方から話を聞いたりして視野を広げることが大切だと仰っていたことが印象に残りました。先輩方の経験を聞くことで、自分の将来像を想像し考えるきっかけになりました。様々な経験や自分を見つめることを通して、自分に合う将来を選択していきたいです。



就職 体験記

今年度卒業する教育心理学科 10 期生の就職体験記です。
大学で学んだことを活かし、それぞれ社会で活躍されることを期待しています。

教員採用試験

毎日コツコツ勉強や面接練習を続けることの大切さ、友達や先生方など自分と関わる沢山の方々への感謝の気持ちを持つことの大切さを学びました。

金谷 恵 養護教諭 (広島県)

私は、教員採用試験の勉強を進めたいく上で勉強をコツコツ継続することの難しさや不安・焦りと向き合い方など自分の弱さを実感しました。しかしその中で、自分にできる最善を尽くし後悔しないよう目の前にあることを一生懸命頑張ることの大切さについて学びました。

一次試験、二次試験に向けて不安ながらもお互いを励まし合い一緒に勉強を続けた友人や専門的なアドバイスをしてくださった大学の先生方、どんな時も笑顔で優しく相談に乗ってくださったボランティア先の先生、日常生活を支えてくれている家族など様々な方の協力や支援のおかげで合格することができました。周囲の方々への感謝を忘れず、春から就実大学での学びを活かし子どもたちと共に成長し続ける養護教諭になりたいと思います。



一般企業就職

就職活動はメンタルを消耗していく活動ではありますが、生き急がず自分の「やりたいこと」を見つけ、自分を大切にしながら頑張ってください！

小阪文乃 組合員 (笠岡信用組合)

私は入学当初、心理士を希望していたのですが3年生の時、視野を広げ多くの経験をしていきたいと強く思い、一般企業就職を選択しました。

私が本格的に就職活動を始めたのは3年生の1月頃でした。就職活動において、キャリアセンターや、友人、家族、先生など周囲の人のサポートを得ることで私自身が納得のいく企業に内定を頂くことができました。

就職活動で大切だと思ったことは自己理解を深めることです。他者と比較していく中で、自分がやりたいことや自分を見失いそうになることもあります。そんな時は自分と向き合うことで自分の長所を見つけることや自信を身につけることに繋がっていくと思います。

本学科で学んだ心理学は自己分析において言語化することや面接時の傾聴の姿勢などにとっても役立ちました。また現代社会においてコミュニケーション能力が最も求められている要素です。そのような社会の中で心理学はコミュニケーション能力を養うことに最も長けていると思います。

就職活動はメンタルを消耗していく活動ではありますが、生き急がず自分の「やりたいこと」を見つけ、自分を大切にしながら頑張ってください！



大学院進学

学部の授業や心理系アルバイトを通して大学院進学を決意しました。先生や先輩、家族や友人に支えてもらい、合格することができました。

西岡磨優 (就実大学教育学研究科教育学専攻教育臨床心理学コース)

私は2年次から心理系のアルバイトやボランティアに参加し、将来は人の心に寄り添える心理士になりたいと考え、大学院進学を目指すようになりました。大学院入試に向けて、先生方には英語や専門科目の勉強会を定期的に開いていただき、同じ志を持つ仲間と共に励まし合いながら勉強に取り組みました。また、大学院の先輩方には入試に向けた勉強方法やモチベーションの保ち方などを教えていただき、心の支えになってくれました。普段の勉強は、本学の図書館の学習スペースを利用し、集中できる環境で取り組みました。友人とは参考書の重要な語句を説明し合ったり、合格後の生活を楽しみに考えたりするなどして気持ちを保つようにしました。このように大学院進学は一人で乗り越えるものではなく、先生や先輩、家族、そして仲間の協力があったからこそ実現したと実感しています。今後も周りの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、大学院での実践的な学びや実習などの活動に積極的に取り組み、多くの人の心の支えとなれるような心理専門職を目指したいと考えています。

大学院進学を検討している後輩の皆さんへ、進路や勉強のことで悩むことがあるかと思いますが、一緒に目標に向かって頑張れる友人を大切に、先生や先輩に助けを借りながら夢を叶えてください。応援しています。



教員採用試験結果・2023年度(4年生分・2024年1月時点)

令和4年度実施公立学校教員採用試験(養護教諭)に4年生8名が合格

主な就職・進路決定先(4年生・2023年12月時点)

[小売]自動車ディーラー、ドラッグストアチェーン [金融]銀行・証券 [サービス]医療・福祉、進学塾・予備校、人材紹介・派遣
[広告]広告製作業 [メーカー]家具設計・製作、菓子メーカー、食品製造・販売、塗料卸売業、塗料製品製造・販売
[その他]大学院進学、公立学校

令和5年度学業奨励賞

令和5年度学業奨励として、
9名が学業奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。



4年生 左から

金谷 恵さん
樋口円香さん 黒瀬睦稀さん

3年生 左から

渡邊未也さん
井登菜々美さん 津田真帆さん



2年生 左から

高見明花さん
下村穂花さん 川端里和さん



学生表彰

○学生活動優秀賞 木村怜愛さん(3年)

・7TH ASEAN OPEN INLINE FREESTYLE CHAMPIONSHIP
(2023年3月 アジア大会)
クラシックスラローム シニア女子 2位
スピードスラローム シニア女子 3位 他

○学生活動奨励賞 山内夢夢さん(3年)

・心理学検定 1級 取得

○学生活動奨励賞 加藤桜花さん(4年)

・第4回日本レセプト学会国際学術大会 優秀賞 受賞
演題: "Parents' eating habits are passed on to their children~Survey of Eating Habits from the Viewpoint of Cultural Reproduction Theory for the Prevention of Lifestyle-related Diseases~"
「親の食習慣はこどもに受け継がれる~生活習慣病予防のための文化再生産論からみる食習慣の調査~」

サークル活動

2年 岡村由加里

フットサルサークルは、教育心理学科のメンバー4人が所属しており、毎週火曜日に活動しています。また、教育心理学科のメンバーの他にもさまざまな学部 of 学生たちが集まっているのが大きな特徴の一つです。このような多様なメンバーからの意見交換により、視野が広がったり、より充実感のある大学生活を送ったりすることができ、フットサルを通して交流を深めながら楽しむことができました。以前は学外の公園で活動していましたが、最近は体育館が利用できるようになり、天候に左右されずにコンスタントにフットサルを楽しむことができるようになっています。定期的に運動をすることで、チームワークやコミュニケーション能力の向上の他に、健康的な生活を送ることも出来るので、学生時代を有意義に過ごすためのより良い手段となっており、充実した大学生活を送るための活動の場となっています。



木村さん・山内さん

加藤さん

2023年教育心理学科ニュース

- ・就実大学教育心理学会総会が4年ぶりに対面で開催されました。(4月7日)
- ・教育心理学科の交換留学生在が石原ゼミ、林ゼミに参加しました。(5月~)
- ・永田忍准教授と林秀樹講師の研究『(研究題目) 心理実習体験を用いた学生の認知的柔軟性と精神的回復力を育むプログラムの開発と効果検証』がウエスコ学術振興財団研究助成に採択されました。(6月~)
- ・林秀樹講師が翻訳に関わった『ピオン事典』が出版されました。(6月14日出版)
- ・永田忍准教授が岡山家庭裁判所で研修「オンライン面接の進め方」を行いました。(7月25日)
- ・永田忍准教授と山西健斗助教が岡山少年鑑別所の事例検討会外部アドバイザーを担当しました。(8月9日)
- ・森口清美准教授はじめ先生方と学生ボランティアで小児がんを経験した子ども達に向けて、「自分の身体を理解し、心身の健康を守る大切さを学ぶ食育クッキング」を開催しました。(8月28日)
- ・森村和浩准教授が実際に就く講座「動けるからだ健康づくり~スロージョギング®健康法~」の講師を担当しました。(10月14日)
- ・石原みちる教授が、岡山一宮高等学校で「ストレスとうまく付き合おう」をテーマにした出前授業を実施しました。(10月30日)

2023年度 教育心理学科 行事報告

4月1日 入学式・学年はじめ

4月3日~7日 オリエンテーション

4月10日 前期授業開始

4月21日・22日 研修旅行(神戸)

5月26日 新入生歓迎会(SEP活動①)

6月18日 第1回オープンキャンパス

7月15日・16日 第2回オープンキャンパス

8月19日・20日 第3回オープンキャンパス

9月16日 教育・就職懇談会

9月21日 後期授業開始

10月28日・29日 第58回就実大学・就実短期大学なでしこ祭

11月9日 2023年度の大学院入試(心理)合格体験報告会

11月22日 養護実習報告会

11月29日 教員採用試験報告会・交流会

12月6日 運動会(SEP活動②)

12月9日 キャリア・就心会 共催講演会
「卒業生にきく社会生活」

12月13日 一般就職・インターンシップ報告会・交流会

3月9日 第4回オープンキャンパス

3月20日 卒業式

就心会記事係: 井上知花音、岡村由加里、川本真緒、佐倉歩華、仙頭 萌、高月真咲、西崎夢生、藤井里帆、美藤春菜、矢野 雅(2年)
井原菜月、大森生夏、河田紗奈、後藤柚月、島田 藍、長尾多紀理、永幡真奈、濱名明加音、三好くるみ、三好彩華(1年)
記事協力: 秋岡奈帆、長谷川美優
広報委員: 山西健斗、内田直義、石井佳葉、森 宏樹、森口清美